

愛知県プラスチックリサイクル協同組合 令和元年第4回理事会議事録

日時：令和元年9月5日（木）

場所：いその(株)

1. 開会

2. 出席者の確認

出席 磯野理事長、杉浦副理事長、名古屋副理事長、植田相談役、倉地理事、
林理事、山田理事、山口理事、藤井理事、伊藤理事、石神理事
浅野事務局、原野事務局

欠席 大村理事、山崎理事、吉田理事、

3. 配布資料の確認

4. 理事長挨拶

みなさまこんにちは。本日は大雨ですが、10年後には気候変動により、気温が2度あがるという話もあります。また、自動車関連で6年前に弊社のペレットが採用された際に、若者に対するアンケートで、「再生材料を使用した車に乗るか？」という問いに対して、7割が「乗る」と回答したという結果もあり、再生材の利用を決めたという話を聞きました。若者は環境に対しての危機感を感じていると共に、今後のターゲットは若者であるとも思います。リサイクル業界においても、バージン材料の値下がりや、外資による進出の話もあります。情報を密に共有しながらそれぞれの会社に有益な会にできればと考えています。本日も多くの議題がありますが、何卒よろしく申し上げます。

5. 議事録作成者ならびに署名者の指名

6. 議題確認

7. 第3回議事録の確認

8. 報告事項

1) 3R低酸素社会検定

事務局

9. 審議事項

1) 令和元年秋の1泊2日勉強会について

名古屋分科会長

・2日目に、工場見学を2件

グリーンサイクル(株)、(株)アビツ

※2社に対して手土産を用意する。

・中小企業共済の補助金に関して、理事メンバーにて賄う

・案内文を修正して配信する。

審議可決

10. 協議事項

1) 2019年度賀詞交歓会について

倉地分科会長

- ・役割分担を次回までに事務局よてい提案する

2) 2019年度新春講演会について

倉地分科会長

- ・時間を60分予定から、90分に変更する
→理事会から時間を前倒しする。
- ・講師も賀詞交歓会まで出席頂く予定。

11. 討議事項

なし

12. 意見交換

1) 市況

- ・輸出に関して、全量検査等が実施されて経費なども発生している。来年4月の環境省のJIS規制に注目する。出口がない状態。
- ・自動車関連にて、軽量化を重視し、ケナブを使用している。タルクの使用量が減っている。再生材の使用が減っている。自動車産業が今後、増産する見込みがないので、建材や雑貨等への転換が必要。最大手の自動車メーカーが再生樹脂利用に関しては、消極的、VOC（環境負荷物質）の関連で匂いが発生するので、内装材はNG、外装に関しても厳しい。他自動車関連企業は再生材の使用に積極的。
- ・中国とアメリカの問題で、バージン材料は単価が下がっている、自動車産業が減産している。お盆前から需要が下がっている。自動車以外への販売は顕著に推移している。成型メーカーが内製化を進めている。自動車の塗装を剥がす依頼などにはあり。中国は不調、タイは好調。インドのバージンが非常に安い。
- ・OGが輸出向けで中国にどんどん出荷している。パレット業界は、木からプラスチックへの転換が世界的に進んでいるので、業界としては、伸びている。
- ・生産過多になっている。雇用を募集しても入らない。
- ・再生しにくい複合フィルムが発生する。従来は中国に輸出していたが、少量の破棄をする先を探している。
- ・自動車関連の企業で、トランスミッション等の減算が相次いでいる。下請けも半分程度の仕事になっている企業もあり、リーマンショックより酷い状態かもしれない。試作がないので、先の未通しが見つからない。プラニック（御前崎）への粉碎の供給案件あり。販売先に困るので、薄利多売になるかもしれない。高い価値の選別が可能かどうか。環境省の予算が余っている。
- ・PET業界はよくない。先がない。繊維やシート向けで、中国に排出しているが、台湾などで、良品がでてくるので脅威。ブレッグジットが10月末に株価が下がることが見込まれる。
- ・10年後、20年後の業界全体が不安。メッキや塗装は技術的に剥離できるが、コストに合わない。

2) 分科会、ユース会報告

- ・尾張分科会 開催なし
- ・名古屋・ビニール分科会 開催なし
- ・三河分科会 開催なし
- ・ユース会 事業推進勉強会を9月13日に開催予定

13. 連絡事項

1) 今後のスケジュール

14. 次回開催日の確認

日時：令和元年12月5日（木） 15：00～17：00

場所：いその株 3F 会議室

15. 閉会